



《イチ押し! pick up》

会社DATA

株式会社近江園田ふぁーむ

- 本社 / 近江八幡市野村町2504-1
- 設立 / 2013(平成25)年
- 代表 / 園田 耕一
- 従業員数 / 11名
- 事業内容 / 農産物の生産・販売
- 問い合わせ先 / TEL:0748-36-8586

環境にやさしい農業から生まれた、安全でおいしい「えんこう米」

「届けよう、一つ上のご満足。活かした土が生命を育てる」をモットーに、安全でおいしい米づくりを実践しているのが株式会社近江園田ふぁーむだ。できるだけ農薬・化学肥料を使わないように、手作業での畦の強化や草刈りなどさまざまな取り組みを行っている。

また、環境にやさしい農業にもいち早く取り組み、NPO法人と連携して、企業の社員食堂などから出る生ごみと自社の米ぬか、大豆くず等で年間約150トン堆肥として再利用している。これらの活動が評価され、

認定農業者*1やエコファーマー*2などの認定を受けている。

そんな農業法人から生まれたお米が「えんこう米」だ。品名は代表者の名前に由来するが、【縁幸米】の意味も込められている。肥料には、海中に堆積した昆布類などの抽出液で作られた天然ミネラル(MR-X)を使用。お米のおいしさを評価する食味値*3では、平均が「72」程度のところ「80~90」を算出し、科学的にもおいしさが証明された。コシヒカリの他に古代米の黒米、赤米など多様な品種で展開中だ。

*1 意欲と能力のある農業者が自らの経営を計画的に改善するため、「農業経営改善計画」を作成し、市町村が認定する制度。
 *2 持続性の高い農法(堆肥による土づくり、化学肥料・農薬の低減技術を組み合わせた農業生産)を実践している農業者。都道府県認定。
 *3 お米に含まれる各成分の含有量を測定し、お米のおいしさを総合的に評価した数値。数値が高いほどおいしいお米。

SHIGAGIN TOPICS

「ふるさと投資」連絡会議へ参画 ~クラウドファンディングを活用し地域活性化~

当行は、内閣官房地域活性化統合事務局が設立する「ふるさと投資」連絡会議に構成員として参画しました。

本連絡会議は、地域資源を活用したプロジェクトを支援し、クラウドファンディング等の手法を用いた「ふるさと投資」の普及・促進を図るため、関係省庁や地方公共団体、地域金融機関などが連携するものです。

連絡会議設立シンポジウムが10月31日、東京都内で開催され、当行は参画する地方銀行を代表しパネリストとして参加。当行が取り組むふるさと投資の事例として、2011年5月に設立した「滋賀の魅力発信ファンド」を紹介しました。本ファンドは、滋賀県ならではの「自然」「食」「歴史」「産業」等の地域資源を「観光」と融合させ、地域ブランドの魅力向上と地域資源を活用した新商品や

サービスに取り組む事業者をサポートするものです。これまで「黒壁ガラス工房ファンド」「琵琶パールファンド」などに投資しています。



地方銀行の代表として当行の取り組みを紹介

ふるさと投資 / 地域資源の活用やブランド化など、地域活性化に資する取り組みを支えるさまざまな事業に対するクラウドファンディング(インターネットを通じて広く一般から投資を募る仕組み)等の手法を用いた小口投資で、地域の自治体や地域づくり団体の活動と調和が図られるもの。